







~~~~【自見はなこ FAX 通信 47】 2023年10月16日（月）~~~~

 **地方創生、沖縄及び北方対策、アイヌ施策担当大臣**   
  **として北海道を訪問しました**  

平素より大変お世話になっております。本年9月13日に地方創生、沖縄及び北方対策、アイヌ施策担当大臣を拝命して以来、10月5日、10月12日と積極的に北海道に足を運んでおります。

10月5日、民族共生象徴空間「ウポポイ」を訪ね、慰霊施設での献花ののち、北海道アイヌ協会三役と加藤前理事長から歴史や現状の課題等をお伺いし、北海道の歴史に想いを馳せました。その後、アイヌ舞踊や国立アイヌ民族博物館を視察し、アイヌ民族文化財団や学芸員の皆様とも意見交換をいたしました。

ウポポイは、ポロト湖の麓の息を呑む雄大で美しい風景の中にあり、国立アイヌ民族博物館の常設展では、アイヌの文化のみならず古くから幅広い交易を和人と行っていたことも知ることができました。ウポポイは、新千歳空港から車で50分、鉄道最寄駅からは徒歩10分という好立地にあります。今後、より多くの方に来場頂けるよう取り組んで参ります。



10月12日、北方担当大臣として根室に伺い、納沙布岬からわが国固有の領土である北方領土を視察いたしました。元島民の方々や関係者の方々に温かくお迎えいただき、改めて感謝申し上げます。

納沙布岬からは、澄み切った青空のもと、くっきりと歯舞群島の貝殻島や水晶島が見えたほか、国後島の羅臼山も望むことができました。

北方館視察、四島のかげ橋視察を行い、関係団体や元島民の皆様と懇談を行いました。北方墓参再開、漁業の安心操業、低利融資制度への要望、若い世代への啓発活動、「えとぴりか」の更なる活用などについて生の声を伺いました。

コロナ禍、そしてウクライナ侵略によるロシア政府の対応により北方墓参が行えていない現状にあります。納沙布岬から私も元島民のご先祖さまに手を合わせて、北方領土返還運動の更なる活発化、北方墓参の再開実現、また実現の際には速やかに墓参ができるよう準備にも尽力して参りたい旨を誓いました。いただいたご要望について、しっかりと対応して参ります。

R5.10.16



寒暖差が激しい時期に別れたが、ご自愛にお願いです。

自見 はなこ



送信元：自見はなこ事務所：東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 504 号  
電話：03-6550-0504 FAX：03-6551-0504 【FAX 通信 47】